

原発連事務局短信 第 1133 号 2021 年 11 月 12 日

原発問題全道連絡会 事務局発行 TEL011-777-1060 e-mail genpaturen@gmail.com

市民運動の高揚で世論と政治を変えよう！

ノーモア福島原発事故 11 日イレブンアクション で果敢に岸田政権の石炭火発・原発推進を批判!!

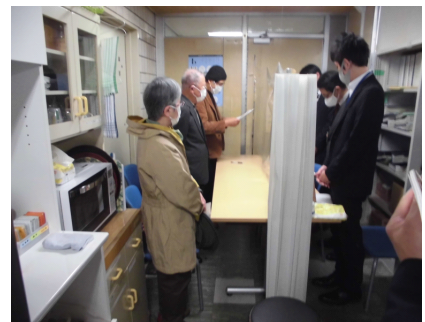


新たな運動の旗高く掲げ!!
原発ゼロ、核のごみ持ち込み NO
を市民に訴える!

11 日、岸田新政権のもとではじめてのイレブンアクションを実施。福島第一原発事故の悲劇を繰り返させないために横断幕・のぼり旗を掲げ、リレートーク、「原発ゼロ」「泊原発の廃炉」「道民の命と財産、食と農、観光に重大な影響を及ぼす原発も核ごみ持ち込み NO」を訴えるリーフの配付、署名も寒い中 7 筆寄せられました。行動には 3 団体 8 人が参加し市民に訴えました。岸田首相は国連気候変動枠組み条約第 26 回締約国会議 (COP26) 首脳級会合での演説で、世界第 5 位の CO2 排出国でありながら最大の焦点である石炭火発廃止に触れず、地球温暖化に後ろ向きの国に贈られる不名誉な「化石賞」を 2 年連続で受賞したことを告発。第 6 次エネルギー基本計画でも石炭火発と原発に固執し推進の姿勢を鮮明にしていることを批判。気候危機に直面する中で世界の流れに逆行する自公政権では国民のいのちとくらしは守れません。全道に運動を広げ、野党と市民の新たな共闘を築き道民のいのちとくらしを守る政治をつくりましょう。

鈴木直道北海道知事に「核ごみ持ち込み拒否等に関する」申し入れを行う!

11 日、午後 1 時半、道原発連は道経済部を通じて鈴木直道道知事に対して表記の申し入れを行いました。申し入れには堀代表委員、米谷常任理事、佐藤事務局長、岩清水理事が同行しました。



申し入れは核のごみの文献調査応募問題を最大の争点に行われた寿都町長選で現職の片岡春雄氏が 6 選を果たしたものの、900 票という半数近くの票が文献調査撤回を掲げた越前谷由樹候補に投じられ、町長選と同時に行われた両陣営の新人候補一騎打ちによる町議補欠選挙は、文献調査撤回を訴えた候補が勝利した事を踏まえて行われました。知事に対して改めて文献調査の撤回とそれに伴う交付金事務について、さらに泊原発の即時廃炉に対する知事の姿勢と対応を問う申し入れとなっています。別氏添付参照。